

風水害・土砂災害に備える

情報を得る

風水害に備えるためには、正確な情報をすばやく入手する事、そして災害の危険性が高まる前に、すばやく避難を開始できるかが重要になります。
市では災害の状況に応じて避難情報を発令しますので、十分注意してください。

○避難情報の入手方法

市では、避難情報を様々な手段を用いて情報伝達いたします。気象警報や土砂災害警戒情報などが発表されている時は、下記の手段を活用し、すばやく情報を得てください。

●緊急速報メール（エリアメール）一斉配信

*緊急地震速報と同様に市域の携帯電話（NTTドコモ、SoftBank、au等）に避難情報を一斉配信します。ただし避難対象地区のみへの配信ができませんので、お住まいの地域の情報なのか、しっかりと確認してください。

*携帯電話によっては、アプリのインストール等が必要な場合があります。

●日光市防災メール

*市内における地震や気象情報などをメールでお知らせします。

事前登録が必要ですので、登録をお願いします。

登録用ページ<<https://service.sugumail.com/nikko-bousai/member>>

⇒詳しくは、
P16

●市ホームページ

●防災用屋外スピーカー、防災ラジオ（戸別受信機）

*豪雨時には屋外からの放送は聞きにくいため注意。

*防災ラジオは条件付き無償貸与・有償譲渡を行っています。



⇒詳しくは、
P16、P17

●広報車

*豪雨時には屋外からの放送は聞きにくいため注意。

●テレビ放送 ※dボタンを押してデータ放送を活用

●地域においては、自治会や自主防災会の連絡網も活用して、情報を共有

○警戒レベル

警戒レベル	避難情報等	住民がとるべき行動
レベル5 (紫色)	災害発生情報 ※大雨特別警報	命を守る最善の行動 ※避難場所への避難又は屋内の安全な場所への避難
レベル4 (うす紫色)	避難指示（緊急） 避難勧告 ※土砂災害警戒情報	全員避難 ※避難場所への避難が危険な場合は近隣の安全な場所又は屋内のより安全な場所へ緊急避難する。
レベル3 (赤色)	避難準備・高齢者等避難開始 ※大雨警報、洪水警報	避難に時間を要する方は避難開始 ※その他の方も危険を感じたら避難開始
レベル2 (黄色)	大雨注意報、洪水注意報	避難に備え、行動確認
レベル1 (無色)	警報級の可能性	災害への心構えを高める

風水害に備えて

- 災害の恐れがある場合は、不要不急の外出を避ける。早めに帰宅する。交通機関の計画運休など注意。災害の影響で遅くなる場合は、経路や帰宅予定時刻を在宅の家族にはっきりと伝える。
- 懐中電灯、携帯ラジオ（予備電池）、モバイルバッテリーを準備。必要に応じ土のうなどをあらかじめ用意しておく。
- 非常持出品・備蓄品（飲料水や食料も最低3日分確保）を準備しておく。
- 浸水のおそれがある場合は、大切な家財道具は、できるだけ高い安全な場所へ移動させる。

避難のポイント

- 指定緊急避難場所とは・・・
災害による切迫した危険を緊急一時的にやり過ごすための場所です。避難の原則は、避難場所への避難です。
- 指定避難所とは
災害の危険があり避難した人が災害の危険性がなくなるまで必要な期間生活したり、または災害により住家を失った方が一時的に生活したりする施設

<自主避難>

避難は早め早めが基本です。避難勧告等が出されていない場合でも、危険を感じたら避難してください。市では台風接近時など、災害の発生する恐れがある場合に自主避難者受入施設を開設します。

<避難場所への避難>

避難行動は、指定緊急避難場所への避難が原則です。あらかじめ近くの避難場所を確認しましょう。

避難情報が発令された際は、速やかに避難場所に避難しましょう。

※ペット同行の避難のためには、普段からのしつけや備えが必要です。

環境省発行の「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」を確認しましょう。

<安全な場所への緊急避難>

ひざのあたりまで浸水している場合や流れが強い場合は、避難場所へ移動することはかえって危険を伴います。動くことを最低限におさえて、自宅の2階などへの垂直避難や近くの高い建物へ避難した方が安全な場合もあります。

無理は禁物です。高い所で救援を待ちましょう。



浸水時に避難するときのポイント

●はき物（裸足、長靴は禁物）

ひもで締められる運動靴がよい。

●やむを得ず移動をする場合は・・・

ロープでつながって。

特に子どもから目を離さないように。足元に注意（安全確認）。

※水面下にマンホール、側溝などの危険。



<避難する際には、隣近所に声をかけて一緒に行動しましょう。>

土石流



山腹や渓流の石や土砂が台風や集中豪雨などによって、一気に下流へと押し流されるものを「土石流」といいます。その流れの速さは時速20km～30kmという速さで一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

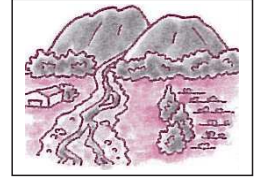
< 前兆現象 >



山鳴りがする



川の濁り、流木が交じる



降雨時、川の水量が減る

がけ崩れ



雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象を「がけ崩れ」といいます。がけ崩れは、突然起きるため、逃げ遅れる人も多く、死亡する割合も高くなっています。

< 前兆現象 >



小石がパラパラと落ちる

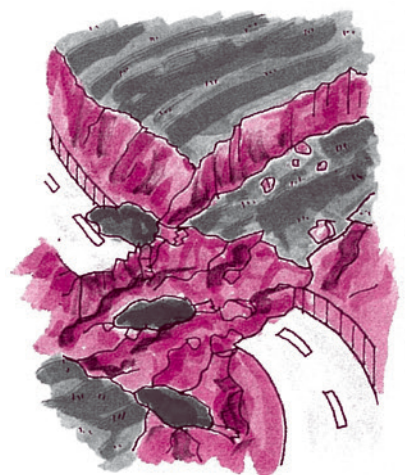


水が湧き出たとき



がけ・斜面に割れ目が発生

地すべり

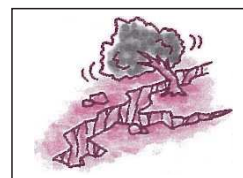


比較的ゆるやかな斜面において、地中の粘土層などのすべりやすい面が、地下水などの影響でゆっくり動き出すものを地すべりといいます。広範囲に発生するため住宅や道路・線路などに大きな被害が出ます。

< 前兆現象 >



沢水・井戸水が濁る



ひび割れ、陥没、隆起



家具の建付けの異常

日光市では、土砂災害の警戒区域について、ハザードマップを作成、周知しています。市HPでも公開していますので、地域の危険箇所を把握しておきましょう。